

対日理解促進交流プログラム JENESYS2019 ASEAN 招へい第 20 陣の記録

テーマ：外交官・行政官交流, 対象国：インドネシア

1. プログラム概要

JENESYS2019 の一環として、インドネシアより外交官 11 名・地方行政官（パプア州）9 名が、2020 年 1 月 28 日～2 月 5 日の 8 泊 9 日の日程で来日し、「外交官・行政官交流」をテーマとしたプログラムに参加しました。一行は、東京都でテーマ関連講義を聴講、また、インドネシアで生産が伸びている工場を持つ日本企業を視察し、さらに、大学や高等学校にて日本の学生と意見交換等の交流を行いました。山形県では、山形県庁国際交流室への表敬訪問や、学校訪問や関連団体を訪問するとともに、ホームステイで地元の人々とふれあい、親睦を深めました。また、一行はプログラム中、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について、発表しました。

【参加国・人数】インドネシア 外交官11名・地方行政官（パプア州）9名

【訪問地】東京都,山形県

2. 日程

1月28日（火）来日【オリエンテーション】

【オリパラ関連施設視察】日本オリンピックミュージアム

【表敬訪問】在京インドネシア大使館

1月29日（水）【日本文化視察】江戸東京博物館

【視察・聴講】一般社団法人 日本外交協会

1月30日（木）【表敬・講義】外務省（外交官）,厚生労働省（パプア州）

【企業視察】株式会社ヤクルト 本社国際部

【学校交流】都立杉並総合高等学校 ※派遣事業報告会等

1月31日（金）東京都から山形県へ移動

【学校訪問】山形県立山形東高等学校（外交官）,

【団体訪問・聴講】NPO 法人 山形パプア友好協会（パプア州）

【表敬】山形県庁

- 2月1日（土） 【ホームステイ】 公益財団法人 山形県国際交流協会
- 2月2日（日） 【ホームステイ】 公益財団法人 山形県国際交流協会
山形県から東京都へ移動
- 2月3日（月） 【学校交流】 東京外国語大学
【視察・聴講】 独立行政法人 日本貿易振興機構
【テーマ関連視察】 国会議事堂
- 2月4日（火） 【ワークショップ】
【報告会】
【日本文化視察】 浅草寺・仲見世通り
- 2月5日（水） 帰国

3. プログラム記録写真

	
<p>1月28日【オリエンテーション】</p>	<p>1月28日【表敬訪問】 インドネシア大使館</p>
	
<p>1月29日【視察・聴講】 一般社団法人 日本外交協会</p>	<p>1月29日【日本文化視察】 江戸東京博物館</p>



1月30日【表敬・講義】外務省（外交官），
厚生労働省（パプア州）



1月30日【企業視察】
株式会社ヤクルト 本社国際部



1月30日【学校交流】
都立杉並総合高等学校※派遣事業報告会



1月31日【学校訪問】
山形県立山形東高等学校（外交官）



1月31日【団体訪問・聴講】
NPO 法人山形パプア友好協会（パプア州）



1月31日【表敬訪問】
山形県庁



2月1日【ホームステイ】
公益財団法人 山形県国際交流協会



2月1日【ホームステイ】
入村式



2月2日【ホームステイ】
離村式



2月3日【学校交流】
東京外国語大学



2月3日【視察・聴講】
独立行政法人 日本貿易振興機構



2月3日【テーマ関連視察】
国会議事堂



2月4日【ワークショップ】



2月4日【報告会】

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 外交官

Jenesys プログラムに参加する前、日本文化は子供の頃、私が育った環境でとても親近感があったが、日本を訪れることで、人生の視野を広げられた。東京の喧騒と山形の人々のおもてなしのおかげで、アニメ、日本の漫画で読んだ、本当の日本の生活を感じることが出来た。この思い出は、インドネシアと日本の外交の世界で、私のキャリアの基盤となるだろう。日本はただのパートナーではなく、大切な心の友達である。

◆ 行政官（パプア州）

JENESYS 2019 外交官と行政官の交流に参加後、私は日本とインドネシアの生活様式、政治システム、宗教、習慣、信条は異なるが、日本とインドネシアの人々は温かく接しあい、お互いが心を開いていることに気付いた。温かく開かれた心は、「心の外交」の基盤となった。両国はお互いを理解し、違いを補い合い、また、長所として受け入れることができるだろう。

5. 受け入れ側の感想（抜粋）

◆ 株式会社ヤクルト

本日予定通りインドネシア外交官・行政官の方たちがお見えになりました。インドネシア現地のヤクルトレディについて成功事例としてお話の中で触れながら、当日のプログラムを進めることができたかと思います。時間の関係で皆さま全員の質問を受けられなかった点は心残りですが、少しでもお役に立てておりましたら幸いです。

◆ 山形県立山形東高等学校

東高は独自のグローバル人材育成事業を進めており、今回はその中でインドネシアとのつながりに焦点を当てた話を、学生主体で進めることができました。参加者の皆様があたたかく話を聴いてくださったので、進行方もやりやすく、とても助かりました。双方にとって有意義な交流の機会になったのではないのでしょうか。

6. 参加者の対外発信

<p>Kunjungan Peserta JENESY 2019 ASEAN, Indonesia Jepang Ke Kedutaan Besar Indonesia Untuk Jepang, Pertemuan langsung dengan Kepala Perwakilan Bapak Tri Purnajaya dan Korfung Sosbud, Bapak Eko Junor sekaligus penyerahan piakat cendera mata pmda kab.jayapura.Tokyo 28 Januari 2020. #JENESY2019 #JAA0128 #JAPAN #Jenesys2019 #asean #jtb #KBRIUtukJepang... もっと見る 翻訳を見る</p>  <p>234 コメント69件 シェア2件</p>	<p>3rd Day of Jenesys 2019: Exchange for Young Diplomats Had a fruitful discussion with the Ministry of Foreign Affairs of Japan. We discussed issues ranging from the differences of diplomatic career's system between the two countries to the possibility of technology utilization for transshipment monitoring in order to exploit our maritime resources sustainably. ... もっと見る</p>  <p>9</p>
<p>2020年1月28日。 ASEAN 2019 JENESY 参加者は、インドネシア大使館を表敬訪問し、代表者である Tri Purnajaya 氏と Korfung Sosbud 氏は Eko Junor 氏と直接会い、ジャヤプラ地方政府のお土産プラークを渡した。</p>	<p>2020年1月30日 Jenesys 2019 の3日目：日本の外務省と有意義な会合をした。両国間における外交キャリアシステムの違いにより、海上資源を持続的に活用する為、監視技術を利用可能にするまでの問題を話合った。</p>
<p>30th January 2020 3rd Day of Jenesys 2019: Exchange for Young Diplomats Paid a visit to Suginami Sogo High School to listen to student's experience in Indonesia through Jenesys Student Exchange Program last year. They embarked a remarkable journey through immersive activities such as volunteering at an orphanage in Semarang and building geo-thermal energy system to help coffee farmers on bean roasting process. ... もっと見る</p> 	<p>Menikmati Makam Malam Bersama Orang Tua Asuh Bapak Tomoyuki Wagatsuma.GBU #JENESY2019 #JAA0128 #JAPAN #Jenesys2019 #asean #jtb #KBRIUtukJepang... もっと見る 翻訳を見る</p>  <p>122 コメント26件</p>
<p>2020年1月30日 Jenesys 2019 の3日目：昨年の Jenesys Student Exchange Program を通じて、インドネシアの学生の体験を聞くために杉並総合高校を訪問した。スマランの孤児院でのボランティア活動や、コーヒー焙煎加工でコーヒー農家を支援する地熱エネルギーシステムを造るなど、この活動を伝えた。</p>	<p>ホストファミリーと一緒に夕食を楽しんだ。</p>

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表（抜粋）

<div data-bbox="231 224 758 504"> <h3>Rencana Aksi Kelompok</h3> <ul style="list-style-type: none"> • Mengadakan Reuni peserta Jenesys 2019; • Diseminasi informasi mengenai Jepang dan Program Jenesys melalui SNS dan pertukaran <i>souvenirs</i>; • Berbagi pengalaman dan pengetahuan dengan peserta program Jenesys selanjutnya; • Membuat grup SNS dengan keluarga host di Yamagata untuk menjaga hubungan dan komunikasi; • Mempromosikan berbagai hal terkait budaya Jepang yang ditemukan di Indonesia melalui SNS. </div> <div data-bbox="231 526 758 795"> <h3>Saran</h3> <ul style="list-style-type: none"> • Aktivitas terlalu padat, kami berharap dapat memiliki lebih banyak waktu untuk diskusi atas topik dalam pertemuan atau kunjungan; • Kami berharap dapat memiliki lebih banyak kesempatan untuk bertemu dan berdiskusi dengan mitra kerja yang berkaitan langsung dengan tugas harian kami, seperti JICA; • Waktu homestay yang lebih panjang untuk lebih memahami kebiasaan dan cara hidup masyarakat di daerah tujuan kami; • Memperbanyak topik diskusi yang dekat dengan tugas harian kami dan sesuai dengan hubungan Indonesia-Jepang, seperti program pengolahan limbah sampah, manajemen penanggulangan bencana, dst. </div>	<div data-bbox="790 224 1364 504"> <h3>III. STRATEGI PELAKSANAAN</h3> <h4>A. Bidang Promosi</h4> <ol style="list-style-type: none"> 1. Sosialisasi Tentang Peran Jepang dalam Pembangunan Infrastruktur di Indonesia kepada lembaga pemerintah dan swasta 2. Promosi melalui media cetak, media elektronik, media online dan media sosial . (Facebook, Instagram, Twiter dan Inagram) </div> <div data-bbox="790 526 1364 795"> <h3>IV. TEMPAT PELAKSANAAN</h3> <h4>A. Bidang Promosi</h4> <p>Promosi di Laksanakan di Kabupaten Jayapura, Biak Numfor, Supiori dan Daerah Papua Lainnya.</p> <h4>B. Bidang Kerjasama</h4> <p>Bidang Kerjasama di Laksanakan di Kabupaten Jayapura, Biak Numfor, Supiori dan Daerah Papua Lainnya.</p> </div>
<h3>アクション・プランの発表</h3> <p>（外交官グループ）〈これからの計画〉</p> <p>2019年 Jenesys の参加者の同窓会を設立する。SNS やお土産を持参して、インドネシアの人たちに自分たちの経験を伝える。山形のホストファミリーと SNS でグループを作り、友好関係を持続させる。</p> <p>〈提言〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プログラムに時間の制約が多くより訪問先でのディスカッションの場が必要。 ・ 職場に関係する人たち、例えば JICA の職員と交流する機会が欲しい。 ・ ホームステイ日程を長くしてほしい。 ・ ゴミ処理問題や、災害対策など、日本インドネシアで共通に直面している問題について話し合う機会を設けてほしい。 	<h3>アクション・プランの発表</h3> <p>（パプア州行政官グループ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本、インドネシア（パプア州）の協力関係について・人材育成・観光・教育・公衆衛生・農業、プランテーション、漁業、家畜・情報通信技術・アニメーション技術・環境保全 2. 上記の協力関係を向上させるために、2020年2月～4月にプロモーションを行う。協力関係の構築は2020年2月～12月中を目途にする。 3. 実施するための戦略 日伊両国間の政府機関、民間を巻き込んで、インドネシアのインフラの拡充に日本の果たしている役割を周知させる。プロモーションは、印刷物、電子メディア、ソーシャルメディアを積極的に使用する。

事業実施団体：株式会社JTB